



シャローム shalom

No.166

2023.春号

ヘブライ語で「平和」「平安」を意味する言葉。日常の挨拶「こんにちは」や「さようなら」として用いられており、神さまの守りと恵みによってすべての人に訪れるシャロームを皆さんに、という願いで医療団発行紙は「シャローム」と名付けられています。



病院機能評価の更新が認定されました

日本バプテスト病院 病院機能評価プロジェクトチーム

日本バプテスト病院は、2023年3月に病院機能評価(3rdG:ver.2.0)一般病院2として更新認定されました。

病院機能評価とは、公益財団法人日本医療機能評価機構が病院を対象に、組織全体の運営管理および提供される医療について、中立的・科学的・専門的な見地から評価を行う第三者評価です。その中で「一般病院2」は、主として、二次医療圏等の比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院とされています。

当院は2003年に初めて病院機能評価認定(Ver3.1)を受けました。初回認定以降2008年にVer.5.0、2013年にVer.6.0、2018年に3rdG:Ver.1.1を受け、今回で5

回目の受審となりました。受審により明らかになった課題に対し、改善や質の向上を図り、より良い病院とするために病院機能評価を継続して受審しています。

今回の評価では、「薬剤管理機能を適切に発揮している(良質な医療の実践)」の項目で最高評価であるS評価を受けました。「改善要望事項」について該当事項も無く、病院機能評価が認定する水準に達していると認められました。約1年前からプロジェクトチームを立ち上げ準備を行ってきたこと、日常診療に対する日々の取り組みが評価されたと考えております。

今後とも地域に根ざした病院として、質の高い医療サービスを提供できるよう、引き続き改善に努めてまいります。

2023年度医療団標語聖句(コヘレトの言葉4章9節より)

ひとりよりもふたりが良い。共に労苦すれば、その報いは良い。

大切なことは『正しく恐れ』 実践する感染対策

いまえりか
感染管理認定看護師 今江 利香

2020年新年早々から始まったCOVID-19パンデミック(世界的大流行)から3年が経過しました。当初は未知の感染症で、『怖い・遷る・治らない』など不安で重苦しい毎日でした。感染対策を専門分野とする看護師であっても同様に感じていました。

やがて知見の集約で解析された情報もあり、感染症法の分類に於いても隔離対策が必要な『2類相当』から季節性インフルエンザ等と同じ『5類』への移行が決まりました。

しかし分類が変わっても、ウイルスの感染力が低下する訳ではありません。身を守るために、標準予防策(スタンダード・プリコーション)という『感染症の有無に関わらず普遍的に実施する予防策』を継続することが大切です。具体的には『手を清潔にする』『必要な場面でマスクを着用する』などで、コロナ対策に於いてとても有効な対策でした。今回のパンデミックで経験した感染対策を忘れることなく、日常生活の一部として継続が必要です。

感染対策は災害対策と同様に、正しい情報を知り『正しく恐れ』実践することが大切です。感染対策の看護師として、正しい情報をお届けし、対策を実践される皆さまのお手伝いが出来ればと思います。



Relay Column

バプテスト老健リレーコラム

vol.12 老健ホームページ内にある 体操動画『元気もりもり体操』を ご存知ですか?

やすなが ひろこ
相談員 安永 裕子



今回は、『元気もりもり体操』をご紹介させていただきます。『元気もりもり体操』このネーミングからご想像いただけるかと思いますが、一度試しに体操すると身体も心も元気が湧いてくる…そんな素敵な体操動画です。約3年前より始まった新型コロナウイルス感染症の影響で地域貢献委員の活動も中止せざるを得なくなりました。そんな中、地域の方々にお会いすることはできなくとも、何かお役に立てる事はないかと思案し、自宅でも毎日気軽に続けられる体操動画を作成することにしました。「毎日気軽に続けられる」をキーワードに3分程で音楽に合わせて全身を動かせる、体操後は身体も心も元気に笑顔になれるそんな動画を目指して運動内容や音楽をチームで話し合い、練習→撮影→編集を行いました。そして、施設長、事務長にもご協力いただき、皆様楽しんでもらえる体操動画が完成しました。

コロナ禍でも自宅で気軽にできる『元気もりもり体操 part1~4』は老健HP、または右記のQRコードよりご覧いただけます。ぜひ一度、私達と一緒に体操を楽しんで下さい。



薬でつなぐちょっといい話

vol.39 お薬の保管方法について

いわた
薬剤部 岩田 あすか



皆さんは普段お薬をどのように保管していますか? 今回はお薬を保管する上でのポイントや注意点を紹介します。

まず、お薬は光や熱による影響を受けやすいため、基本的には直射日光を避けて室温(1~30℃)で保管しましょう。シロップ剤や坐薬、点眼薬などの「冷所保存」と指示があるお薬は冷蔵庫に入れてください。お薬の説明書に書かれた保管方法にそれぞれ従ってください。

次に誤飲を防ぐため、お薬を他のものと一緒に保管しないようにしましょう。また、お薬を他の容器や袋に移し替えると、「何のお薬だったか」「どうやって飲むか」が分からなくなるため移し替えはやめましょう。

最後にお薬はそれぞれ使用期限があるので、保管しているお薬を定期的に確認することも大切です。期限を過ぎたものや開封後時間が経ったもの、見た目が変わっているお薬は使用せず破棄してください。そしてお薬は個人の症状に合わせて処方されているので、正しい保管方法でも余っているからといって同じ症状の他の人に渡すことはやめましょう。

お薬の効果を十分に発揮するために保管方法についても気を付けてくださいね。



健康・栄養

第49回 ～ 食こぼれ話 ～

かねこ みどり
管理栄養士 **金子 緑**



百人一首の中に「君がため春の野にいでて若菜つむわが衣手に雪はふりつつ」（光孝天皇）があります。

この句の「若菜」とは春に生えてきた食用や薬草になる草のことだそうです。この句が詠まれたのは平安時代なのでこの時期に出回る山菜もこの「若菜」に含まれると思われます。春に生える山菜は優れた健康食材であることがわかってきています。山菜の苦みの正体は「ポリフェノール」です。ポリフェノールといえば赤ワイン、チョコレート、コーヒー、緑茶などに含まれているあのポリフェノールです。ポリフェノールの働きには体を錆びつかせない抗酸化作用があり、体を錆びつかないことで動脈硬化予防、アンチエイジングなどの効果が期待できます。特に春の野菜には新陳代謝を促進したり老廃物の排出を助けてくれる作用もあります。

よりおいしく食べていただくために春に旬を迎える野菜の選ぶポイントをご紹介します。

ふきのとう

葉が開いておらず、つぼみがまだ硬く閉じている小ぶりのもの、黒ずんでいないもの。

たけのこ

小ぶりで、皮が薄茶色で穂先は黄色がかったもの、ずっしり重みのあるもの。

ふき

緑が鮮やかで黒ずみがないもの、太さが均一のもの、ピンと張りがあるもの。

わらび

芯が太くしっかりとしていて産毛が多いもの、首が上を向いていないもの、茎は緑色のもの。

ごごみ

先端がよく巻かれ芯がしっかりしたもの。

菜の花

葉と茎がやわらかくみずみずしいもの。つぼみが開いてないもの、葉の色が濃いもの、茎に空洞がないもの。

うど（独活）

白くて太くまっすぐ伸びているもの、葉がしおれておらず、ピンと張りがあるもの。

春キャベツ

芯の切り口が白くみずみずしいもの。切り口の大きさ程度は500円玉程度のもの、形は丸く、小さく軽いもの。巻きが緩いもの。外側の葉が濃い緑色でつやつやしているもの。葉が柔らかく薄いもの。

新玉ねぎ

皮が乾いていてつやのあるもの、触ってぶよぶよしていないもの、ずっしりと重みがあり、硬くひきしまっているもの。上の首の部分が小さく引き締まっているもの。



スナップエンドウ

全体が鮮やかな緑色で、ふっくらして張りのあるもの。ガクの部分がみずみずしいもの。

グリーンアスパラ

穂先がつぼんでピンとしていて、穂がしっかりと詰まっているもの、芯の太さが均一なもの、切り口の変色が無く、みずみずしいもの。

おいしく、
栄養価の高い、
それでいて家計にもやさしい
旬のものを楽しんで
ください

聖書の小道

第56回

「出発も、帰着も」

あなたがたがわたしを

選んだのではない。

わたしがあなたがたを選んだ。

あなたがたが出かけて行って
実を結び、その実が残るようにと、

(中略) わたしがあなたがたを

任命したのである。

ヨハネによる福音書
15:16

みやがわ ゆみこ

牧師・チャプレン **宮川 裕美子**



当医療団の就職・就任式ではこの聖句が読まれます。キリスト教に初めて触れる方には、不思議に聞こえるかもしれません。

この言葉は最後の晩餐の席で、主イエス自らが弟子たちの足を洗い、謙遜をもって仕える愛を示された後に語られたものです。それゆえ「出かけて行って実を結ぶ」こととは、主イエスの愛を実践することを意味します。また、主イエスの「わたしが選んだ」という言葉は、出かけていく者たちに対する主イエスの太鼓判です。「あなたは大丈夫」と、それぞれの出発の足を強め、その背を押し出してくださっているのです。

わたしたちはそれぞれの人生を旅し、その人生の中にさまざまな出発の時があります。「わたしが選んだ」、「その実が残るように」との主の言葉は、人生の旅の出発の時も、帰着の時も、すべてを見守り、導いていてくださる言葉でもあります。

お知らせ 備蓄食品類を寄贈しました

病院が災害時に備えて備蓄している食品のうち賞味期限が間近に迫った一部の食品を京都市が主導して実施している「京都子ども宅食プロジェクト」に寄贈しました。

社会福祉法人あだち福祉会理事長で足立病院理事長でもある畑山博先生が日本バプテスト病院に来訪され、贈呈式を執り行いました。

コロナ禍のいま、人が集まる形となる子ども食堂を運営することは難しく、実際には寄贈した食品は家庭ごとの箱に分けられて梱包されたのち、宅配業者を通じて支援を必要としている家庭に届けられるとのことでした。



お知らせ 左京消防署より感謝状の贈呈を受けました

この度、左京消防署様より感謝状の贈呈を受けました。これは当院が左京消防署員の方々に新型コロナウイルスワクチンの接種を実施し、署員の皆様の健康に寄与したとして贈呈されたものです。



イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、随時受け付けています。詳しくはおたずねください。

寄附の方法

寄附金は、直接、当医療団へお持ちいただくか、郵便振替での送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

郵便振替

記号番号 00960-4-282133

加入者名 一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団

お問い合わせ先

日本バプテスト連盟医療団 経理課 TEL 075-702-5926

献金・献品 感謝ご報告 (2022.11.1~2023.1.31) 敬称略

岡本 邦江 小塩 加代子 和歌山バプテスト教会
同志社女子高等学校 西南幼稚園 西南学院バプテスト教会
富田 信子 別府国際バプテスト教会 遠藤 加奈子 川勝 高宏
日本キリスト教団京都南部地区 石井 文康 認定こども園紫野幼稚園
日本基督教団錦林教会ベスタロッジ保育園 匿名の方1名

新任ドクター紹介

いしかわ よりこ
小児科 副部長 石川 依子



4月から小児科で勤務させていただき石川です。新生児医療にもっと関わりたく思っておりましたが、夢が叶いとてもうれしいです。これからもずっと末長く赤ちゃんたち、さらには成長していくお子さんたちのお手伝いをしていきたいです。

いまだ ゆうこ
健康管理科 副部長 今田 祐子

日本バプテスト病院には20年近く前の2004年から2006年にかけて、内科医(消化器内科)として勤務させていただきました。数年前からは大阪の病院の健診センターに勤務し、今回は健診医として働かせていただきます。皆様の健康維持のために尽力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

やまだ まさえ
産婦人科 医長 山田 雅恵



元々出身は大阪です。三重大学病院、手稲溪仁会病院、板橋中央総合病院で勤務してきました。このたびはご縁があって日本バプテスト病院に勤務することになりました。患者様に良い医療を提供できるよう、努力してまいります。よろしくお願いいたします。

なみかわ みお
消化器内科 医師 並川 実桜



4月より消化器内科で勤務させていただきことになりました、並川と申します。兵庫県立尼崎総合医療センターで勤務後、京都大学大学院で胆道腫瘍の研究をしておりました。徐々に臨床医に戻ることにになり、緊張もありますが、患者様やスタッフの方々と苦楽を共にする日々が楽しみでもあります。少しでも皆様のお力になれるよう精進して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだど、こころと、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.166 2023年4月発行

発行/一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 発行人/代表理事 尼川 龍一 編集/日本バプテスト連盟医療団広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。

著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。

日本バプテスト病院 <https://www.jbh.or.jp>

バプテスト老人保健施設 <https://www.jbh.or.jp/roken/>

バプテスト訪問看護ステーション しおん <https://www.jbh.or.jp/shion.html>

バプテスト居宅介護支援事業所 <https://www.jbh.or.jp/about/section/chiki/chiki-renkei/kyotaku.html>